

事業概要シート

施策	1304	畜産業の振興	《》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	大村産長崎和牛活用支援事業	廃止	予算額	2,000 千円 《 0 》千円	
事業期間	令和6年度 ~ 令和7年度		財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	大村市農林水産振興事業費補助金交付要綱			県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	2,000 千円
			一般財源	千円	

【事業の目的・概要・対象】

ウクライナ問題や円安の長期化など海外情勢の変動による飼料費の高止まりをはじめとする物価高騰の継続に加え、コロナ禍から続く牛肉の需要低下は回復に至らず、和牛の枝肉価格の下落、子牛価格の下落が長期化し、肉用牛の経営維持が困難となっている。

このような状況から、学生生活最後の給食に大村産長崎和牛を使用した料理を提供することで、大村産長崎和牛の認知度を高め、将来にわたって持続的な販売促進に繋げる。

【事業内容】

市内在校の中学3年生にとって学校給食が最後となる日に、中学生全員に対して、大村産長崎和牛を使用した料理を提供する。

【対象者】

市内在校の中学生

【総事業費】

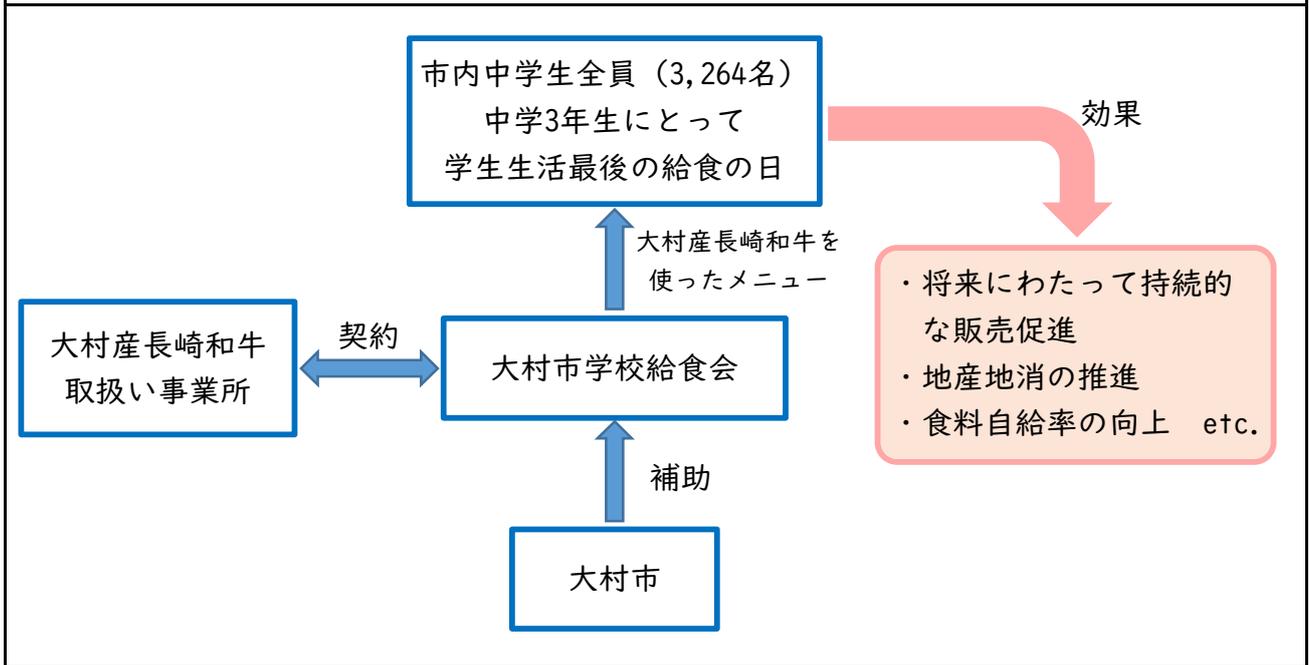
2,000千円（長崎和牛仕入額を助成）

・中学校生徒数：3,264人、大村産長崎和牛仕入額：6,500円/kg

・令和7年度；大村産長崎和牛を使用した料理（90g/人の長崎和牛を使用=90g/人×3,264人≒300kg）
6,500円/kg×300kg=1,950,000円

・事務費（振込手数料ほか50,000円）

※ 財源として、GCF（ガバメントクラウドファンディング）の内、2,000千円を活用する。



【背景】

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、牛肉の消費需要の回復が期待されているが、コロナ禍前の需要までの回復は見込めず、枝肉価格依然として下落が続いていることから、肉用牛の販売促進や価格の安定化を図る必要がある。

また、円安の長期化、飼料価格や資材価格の高止まりの継続といった畜産経営に係る問題に加え、高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病による脅威、さらには地球温暖化による猛暑により畜産物の安定した生産が困難となっていることもあり、極めて厳しい状況が続いており、畜産経営の安定的な継続対策を講じる必要がある。

担当課	農林水産部農林水産振興課	課長	岩永 太
担当者	関 将史	問合せ先	0957-53-4111（内線253）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	長崎和牛仕入量	kg	323.5	300	0	0	0
②							

【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	学校給食への長崎和牛を使ったメニューの提供数	食	3,235	3,264	0	0	0
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	0	2,072	2,000	0	0	0	4,072
国庫支出金		2,072					2,072
県支出金							0
地方債							0
その他			2,000				2,000
一般財源		0	0				0
人件費	0	149	149	0	0	0	299
職員(人)		0.02人	0.02人				0.04人
時間外勤務(h)		2h	2h				4h
会計年度任用職員(人)		0.00人	0.00人				0.00人
フルコスト	0	2,221	2,149	0	0	0	4,371

妥当性 (市の関与)	本市の肉用牛産出額は、部門別で上位を占めており、基幹産業として本市のみならず長崎県の農業生産に大きく寄与していることから、妥当である。
有効性 (施策貢献度)	保護者をはじめとした市民への販売促進のみならず、中学生の記憶に残ることで、将来的な販売促進へ繋がることから、地産地消、食料自給率の向上などの効果が得られる。
効率性 (コスト)	大村市農林水産振興事業費補助金交付要綱に基づいた補助事業として取り組むものであり、効率的な事業実施に努める。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり